

佐賀中部チャレンジド8020歯科保健医療ネットワーク推進事業

協働の相手(名称)	佐賀中部チャレンジド8020歯科保健医療ネットワーク検討会(佐賀中部管内3地区歯科医師会代表者、障害者施設・作業所等代表者、市町自立支援協議会代表等で構成)		
事業年度	平成19年度～		
県の担当部署	佐賀中部保健福祉事務所 健康推進第二課 健康指導担当 直通0952-30-1905		
県の予算額	497千円	協働の形態	事業協力

目指す姿

・障害者の8020を推進するためには、障害者がかかりつけ歯科医を持ち、早い時期から定期的に口腔管理(口腔ケア)を受けていくことが重要である。また、その体制整備のためには、障害者を取り巻く地域の関係者、福祉関係者や歯科医師会等と連携を行い、障害者の歯と口の健康づくりを支援する体制づくりを構築することが重要である。このため、保健福祉事務所がその調整に関わり、障害者歯科保健医療サービスに関わる歯科医療機関・施設間の連携体制整備を行い、公衆衛生の立場からサポートを行う。

事業概要

以下のことを行っています。

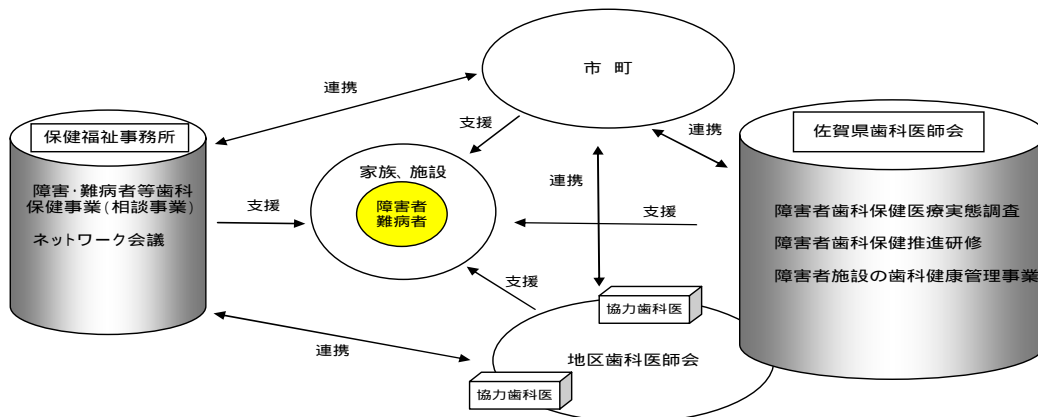
- (1) 歯科相談(通称 わかくす歯科相談)
- (2) 障害者・難病者歯科保健医療ネットワーク検討会
障害者の8020をサポートするために
・家族や支援者のための歯みがき支援ブックについて
大同生命厚生事業団「地域保健福祉研究助成」(助成金額 500千円)を活用し作成
・医療従事者向けの研修会について ・歯科医療機関受診支援ビデオについて
- (3) 障害者・難病者歯科保健医療従事者研修会
「一般歯科医院で行う障害者の歯科診療」
「障害者支援者から歯科医療との連携の実際について」
「自閉症児の特性を活かした医療サポートと歯科保健医療従事者の役割」
- (4) その他必要な事項
「家族や支援者のための歯みがき支援ブック」は、管内の関係施設や歯科医師会等へ配布、新聞掲載し、希望される障害者の方等へ送付

協働の背景

障害者が8020を推進するためには、家族や支援者側のよりよいサポートや地域のかかりつけ歯科医の受け入れ体制等が必要であり、現実には困難な場合があり(県外の歯科診療所へ通院したり、日頃からの口腔ケアが出来ていない)、それを地域が連携して支える必要があります。

協働の内容

佐賀県 チャレンジド歯科保健医療ネットワーク推進事業



協働の成果

- 障害のある方が近くの歯医者さんに通いやすい環境づくりをサポート
- 障害者対応歯科医療機関マップの作成
 - 平成19年度協議し、平成20年度県事業にて実施
- 歯科医療従事者の人材育成(障害理解+具体的対応のための研修会開催)
- 障害者の生活支援者の負担軽減をサポート
- 「家族や支援者のための歯みがき支援ブック」の作成
- 地域における取り組みをサポート
- 地区の自立支援協議会等へ波及
 - 小城多久障害者地域自立支援協議会等においても、かかりつけ歯科医機能充実のための検討を行っている。



歯科医療従事者研修会

★ 診察室 規 ★



受付には、分かりやすい人が通っています。



診察室は、清潔で明るい環境を整えています。



丁寧な説明と、安心できる治療を行います。

〇〇先生

歯みがきは、なるべく目に触れないように工夫しています。



家族や支援者のための

歯みがき支援ブック



佐賀県チャレンジゼロ2019歯科医療関係ネットワーク事務局
佐賀県健康福祉事務所

障害者対応歯科医療機関マップ

歯みがき支援ブック

県民のメリット

障害者が地域のかかりつけ歯科医を持ち、生涯を通しての口腔管理・ケアを行うことができ、障害者の8020の推進につながる。また、患者・家族、支援者等の負担軽減や不安を解消することにより、県民の安心につながる。

今後の展望

今後も、チャレンジド8020歯科保健医療ネットワーク検討会において協議し、さらなる関係者、関係機関の連携強化と、障害についての理解や具体的な対応のための研修会を開催し、歯科保健医療について、本人や家族・支援者の抱える様々な不安・問題点を点検し解消していきたい。